



## 「J1リーグ試合」で広報活動を実施



自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は4月29日、味の素スタジアムで開催されたサッカーJ1・第13節のFC東京対清水エスパルスの試合において広報ブースを出展した。

本広報活動は、平素より業務上の関係を出す東京都のご紹介により初めて広報ブースを出展したものであり、当日は約3万3千人の大観衆の中、屋外イベント会場で開催された「TKO KYO FAMILY DAY DAY 働く車が集結！」の中で11/2トラックを展示したほか、ガラポン抽選会と迷彩服・制服の試着コーナーを運営した。また、ハーフタイムの時間にスタジアム大型ビジョンを活用した広報動画の放映を実施した。

イベント中には東京地本公式マスコットキャラクター「トウチ君」も屋外イベント会場を歩きながら、多くの来場者と触れ合い、地域のサッカーファンに広く自衛隊をアピールした。

来場者からは「警察、消防もいけど自衛隊もかっこいい」、「将来の選択肢の一つとして、自衛隊にも興味が出てきました」など嬉しい声が続出した。

今回の出展準備にあたり、主催者からの要望内容を丁寧に確認し、調整業務に尽力した広報班員もプロスポーツチームの影響力の強さを改めて実感するとともに、都内における自衛隊への関心や認知度の向上を大いに感じた。

東京地本は、今後も自衛隊への理解を深めるべく、魅力ある広報活動を実施していく。

## 届け 音楽で繋ぐ心の交流 みどりのフィールドコンサート



自衛隊東京地方協力本部立川出張所（所長 星2陸尉）は4月29日、東京都立川市国営昭和記念公園ふれあい広場において、みどりのフィールドコンサートに参加した。

東京立川ロータリークラブが主催するこのイベントは、海上自衛隊東京音楽隊による野外コンサートに併せ、海上自衛隊（横須賀基地）及び陸上自衛隊（第1後方支援連隊）の装備品展示や広報ブースによる自衛隊の紹介などが行われた。

海上自衛隊ブースでは、南極の氷に南極の石、記念缶バッチが、陸上自衛隊ブースにおいては、11/2トラックや宿営用天幕など、様々な工夫を凝らした装備品展示等により会場を大いに盛り上げた。来場者は、演奏を楽しみながら身近に見たり触れるなどして装備品等に目を輝かせていた。

また、今回は心の交流を目玉として「音楽隊へメッセージを届けよう！」というコーナーが設けられ、「また、聴きたい！」「素敵な音楽をありがと！」「とても良かった」「素敵な音楽をありがと！」「とても良かった」等、イラストや多くのメッセージが寄せられた。記念の音楽隊ステッカーを手渡すと、すぐに携帯ケース等に貼り付け、恥ずかしそうに見せてくれる子供もいた。

立川出張所は、装備品展示協力部隊は勿論、音楽隊や他幕広報とも連携を取りながら、地域の方々の交流を大切に、来場者に「自衛官と出会えて良かった」「楽しかった」と記憶・心に残る取り組みを通じ、自衛隊の魅力発信とともに募集業務に邁進していく。

## WAKUWAKU防災フェス2025に参加



東京地方協力本部豊島出張所（所長 岩澤1陸尉）は5月11日、立教大学池袋キャンパス内において催された「ALLとしま×立教 WAKUWAKU防災フェス2025」に参加した。

本イベントは、豊島区と立教大学が共催し、豊島区役所のほか、警察、消防、企業などが地域住民とともに「防災」と「減災」について楽しく遊びながら学び、備えるというテーマのもと行われた。また、災害を経験した地域を応援する物産展も併設され、石川、福井、熊本、福島、岩手など各県のゆるキャラたちが参加し、来場した子どもたちも大いに喜んでいった。東京地本のマスコットキャラクター「トウチ君」とのコラボも見られた。

自衛隊ブースでは、第1普通科連隊第2中隊による軽装甲機動車、偵察用オートバイの装備品展示及び子ども向けの迷彩服・制服体験試着を出展した。特に人気があったのは「トウチ君」と一緒に軽装甲機動車をバックにした記念撮影であった。保護者の方は、我が子に迷彩服や制服などを着せ、何度もスマホで撮影していた。

来場者から「この車やバイクで災害派遣に行くんですか？苦勞様です！」と声を掛けていただくなど、自衛隊の活動が認知されていることを実感できる出来事もあった。

豊島出張所は、今後も地域のイベントに積極的に参加し、防災意識の高揚に貢献するとともに、幅広い層に自衛隊を認知してもらうための活動を継続する。